

## NPOフュージョン長池

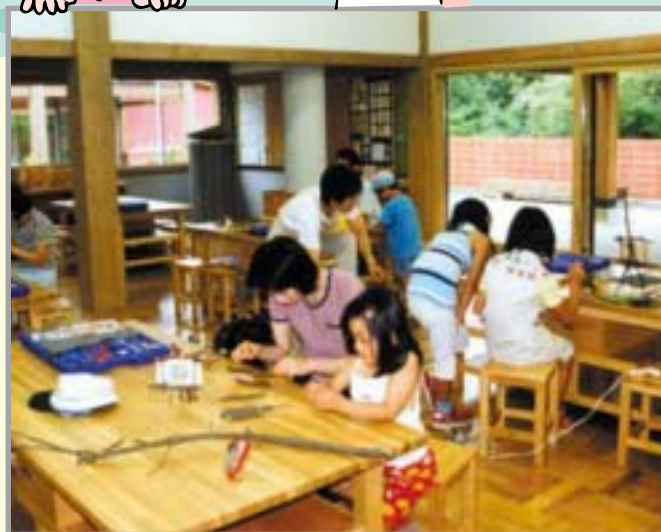
### Q NPOフュージョン長池とは

「NPOフュージョン長池」の活動は、現在、理事長である富永一夫さんと地域のお父さんたちの地域のために何かできないか、心通い合う暮らしを実現できないかという思いから始まりました。

平成11年に、特定非営利活動促進法（NPO法）に示される12分野全てを活動の分野とし、認証申請し、法人格を取得しました。

平成13年には、八王子市長池公園内の「八王子市長池公園自然館」（長池ネイチャーセンター）の管理運営業務を受託しました。

長池ネイチャーセンターの管理運営業務をするようになり、地域の貴重な自然を生かした体験学習の拠点、身近な施設として、近隣の方々に利用していただいて、常時、ふれあいが持てるようになってきたとのことでした。



### Q 地域で165日体験学習に挑戦

今年度から、NPOフュージョン長池では、長池ネイチャーセンターを主な会場とし、地域の小学校や保育園と連携しながら、〈地域で165日体験学習に挑戦〉という事業に取り組んでいます。

165日とは、平成14年度の土、日、祝日、夏休みなどの長期休業期間を足した日数です。この休みとなる165日を利用して、子どものために、科学実験教室、絵手紙教室、工作教室などを行っています。科学実験教室などは、常に次の回が満員となってしまうほどの人気となっています。



### Q 地域ので

今回は、〈地域で165日体験学習に挑戦〉の「阿部さんの工作教室」取材させていただきました。長池公園で集めてきた木切れや小枝などを利用してミニチュアのイーゼルや家などを作成していました。「工作はあまり得意じゃないけど、自由にできて楽しい。」と笑顔で話す小学生。子どもと一緒に来ていたお母さんは「子どもより自分の方が夢中になってしまっ。」などなど。大人も子どもも一緒に楽しんでいる様子でした。

普段の生活ではなかなか出来ないようなことを親子で楽しみながら、コミュニケーションも図れる良い機会となっているようでした。

講師をされている阿部さんは、自宅で、アトリエ教室を主宰しています。そして、長池ネイチャーセンターを利用していただくことから、講師を引き受けることになったそうです。この工作教室では、講師の阿部さん自身も参加者の方からいろいろと刺激を受け、学ぶことが多いといいます。

このように、地域に潜在している力を引き出し、コーディネートし、子どもや親、講師にとっても、新たな学び合いの場を創り出しているといえるでしょう。



阿部さん

NPO

NPOとは、Non Profit Organizationの略とされ、一般に、「民間非営利団体」などと呼ばれています。平成10年には、特定非営利活動促進法（NPO法）が施行されました。この法律は、福祉、環境、国際協力、まちづくりなど様々な分野において、ボランティア活動をはじめとした民間の非営利団体による社会貢献活動が活発化し、その重要性が認識されているなかで、これらの団体が法人格を取得する道を開き、その活動の健全な発展を促進し、公益の増進に寄与することを目的としています。